

1. 実施方法

- (1) 原則として、所定のCD-R又は録音テープを校内放送施設・設備を通して再生する。再生は国語の試験開始直後に行うものとする。
- (2) 校内放送施設・設備が完備していない場合及び故障、又は停電などの場合には、他の試験会場の妨げにならないように配慮の上、各試験会場を巡回し、テープレコーダー等により再生するものとする。
なお、巡回等のため国語の試験開始直後に**第一問題**が一斉に実施できない場合には、他の問題から先に行うよう、監督者が受験者に指示すること。

2. CD-Rに収録してある内容

ただ今から、放送による問題を行います。 (2秒おく。)

問題冊子を開き、1ページを見なさい。 (3秒おく。)

中学3年生の小林さんが、交通安全について発表しようとしています。
これから、その発表を放送します。聞きながら、メモを取ってもかまいません。
そのあと、下の問一から問三に答えなさい。
なお、放送はすべて一回だけです。

それでは小林さんの発表に入ります。 (3秒おく。)

これから、私が作った交通安全の標語を発表します。『見逃すな あなたのそばに ひそむ危険』です。

交通事故に遭う危険は、身近な場所や、いつもしている行動に隠れています。この標語は、事故を防ぐために、周りや自分の行動に危険がないか確認してほしいという思いを込めて作りました。

私は、先日、地域の交通安全運動のボランティア活動に参加しました。活動内容は、街頭で歩行者や自転車に乗っている人に交通安全を呼びかけたり、交通ルールの書かれたチラシを配布したりすることです。その活動中、大変残念なことがありました。中学生のとても危険な自転車の乗り方が目立ったのです。

特に目立った危険な行為は、乗りながら傘をさすこと、携帯電話で通話すること、イヤホンで音楽を聴くことの三つです。みんながやっていることなので、危険だという自覚がない人も大勢いるでしょう。しかし、これらはどれも事故につながる大変危険な乗り方です。

事故というのは、自分が事故に遭うことだけではありません。自分が事故を起こす危険もあります。自転車は、免許がなくても、幼い子供でも乗れるので、そのことを忘れてしまいがちです。しかし、自転車と歩行者がぶつかれば、歩行者にけがを負わせてしまうこともあるし、死に至らせることだってあるのです。

このような事故を減らすために、自転車も自動車同様、免許制にしてはどうかと提案する人もいます。しかし、そのような制度がなくては事故が減らないと言われる前に、私たち一人一人が自分のすぐそばにひそむ危険を知り、事故を起こさないように気をつけていくことが、交通安全を守るためにとても大切なことだと思います。

(3秒おく。)

放送はこれで終わります。解答を書き終わったら、ほかの問題に進みなさい。